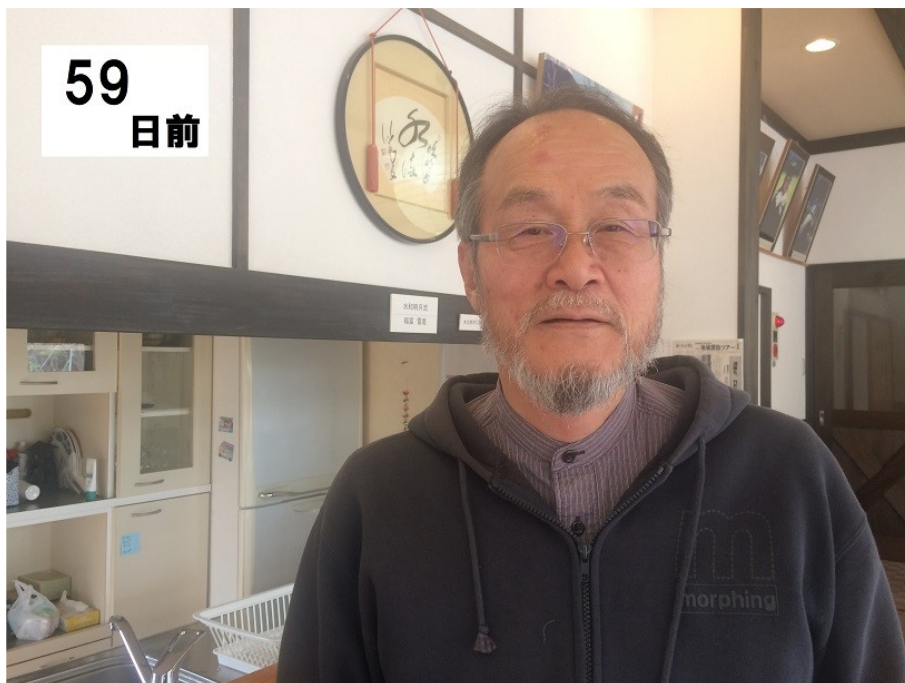


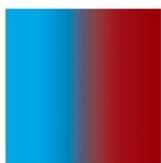
## 開幕まであと 59日 ☆水と土の芸術祭2018カウントダウン☆

配信日：2018/5/16（水）



今回は、相楽治さんです。相楽さんは、新潟水辺の会の代表世話人（理事）です。新潟水辺の会は「記憶される美しい水辺を、次の世代に継承してゆきたい」を目標に活動されています。その活動の中には、鮭の遡る信濃川・千曲川の復活させる活動があります。信濃川・千曲川は、1930代のダム開発により鮭の遡上・降河が断たれてしまいました。それまで信濃川・千曲川は全国屈指の鮭の産地であり、上流は長野県松本市や上田市まで数万尾の鮭が遡上していました。それが、2010年10月、信濃川放流量の改善でなんと70年ぶりに長野県上田市まで鮭が遡上しました。水辺の会さんたちの地道な活動による成果です。

新潟市は水と共生してきた都市です。それは多くの歴史や文化を持つ都市だということでもあります。新潟市は他の都市にはないものが沢山あります。ぜひ、水と土の芸術祭を通して、新潟市の魅力に触れてみてください。



水と土の  
芸術祭

Water and Land  
Niigata Art Festival 2018

